

目標達成計画

作成日: 令和元年10月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20、21、28	殆どが外国籍職員であり、ハウスの利用者様は全員日本人であり今までの人生の歴史をそれぞれ背負ってきているのでハウスの皆様との共同生活はただでさえ調整が難しい。認知症の理解は職員にはあるもののコミュニケーション技法で乗り切る事が難しい。	ハウスの職員がそれぞれの利用者様と和やかな関係を持つことができる。	職員が自国のレク文化を紹介したり日本の昔の遊びなどの交流をしたり、利用者様それぞれの興味や夢中になれる事を発見したら職員皆で共有して試してみる。利用者様の反応でまた皆で考えるということを繰り返しながら和やかな関係を目指す。	12ヶ月
2	26、27	殆どが外国籍職員である。中には休みに日本語の勉強にいたり、日常業務の中で日本語を覚えていっている職員もいる。その傾向が全職員に及ぶとよいが難しい。	職員の介護記録のレベルが少しでもアップできるようにする。	日本人の介護福祉士からでも現場でありとあらゆることから学んで仕事に活かせるような活気ある職場を目指し学ぶ楽しみ、身に着く楽しみを業務の中でお互い発見していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。